

# DX戦略 2024



一般財団法人沖縄ITイノベーション戦略センター  
2024年8月

# Agenda

- ・ ISCOの基本理念とDX戦略について 1
- ・ ISCO DX 社内システムのロードマップ 2
- ・ 取り組み事例① Eラーニング活用による人材育成 5
- ・ 取り組み事例② 対話型AIによる業務支援 6
- ・ 取り組み事例③ BIツール活用による分析 7
- ・ 取り組み事例④ 電子契約システムによる効率化 8
- ・ ISCO DX推進体制 9
- ・ KPI 10
- ・ セキュリティ対策 11
- ・ 課題と今後のDX戦略 12

# ISCOの基本理念とDX戦略について



## ■ 基本理念・ビジョンの確立

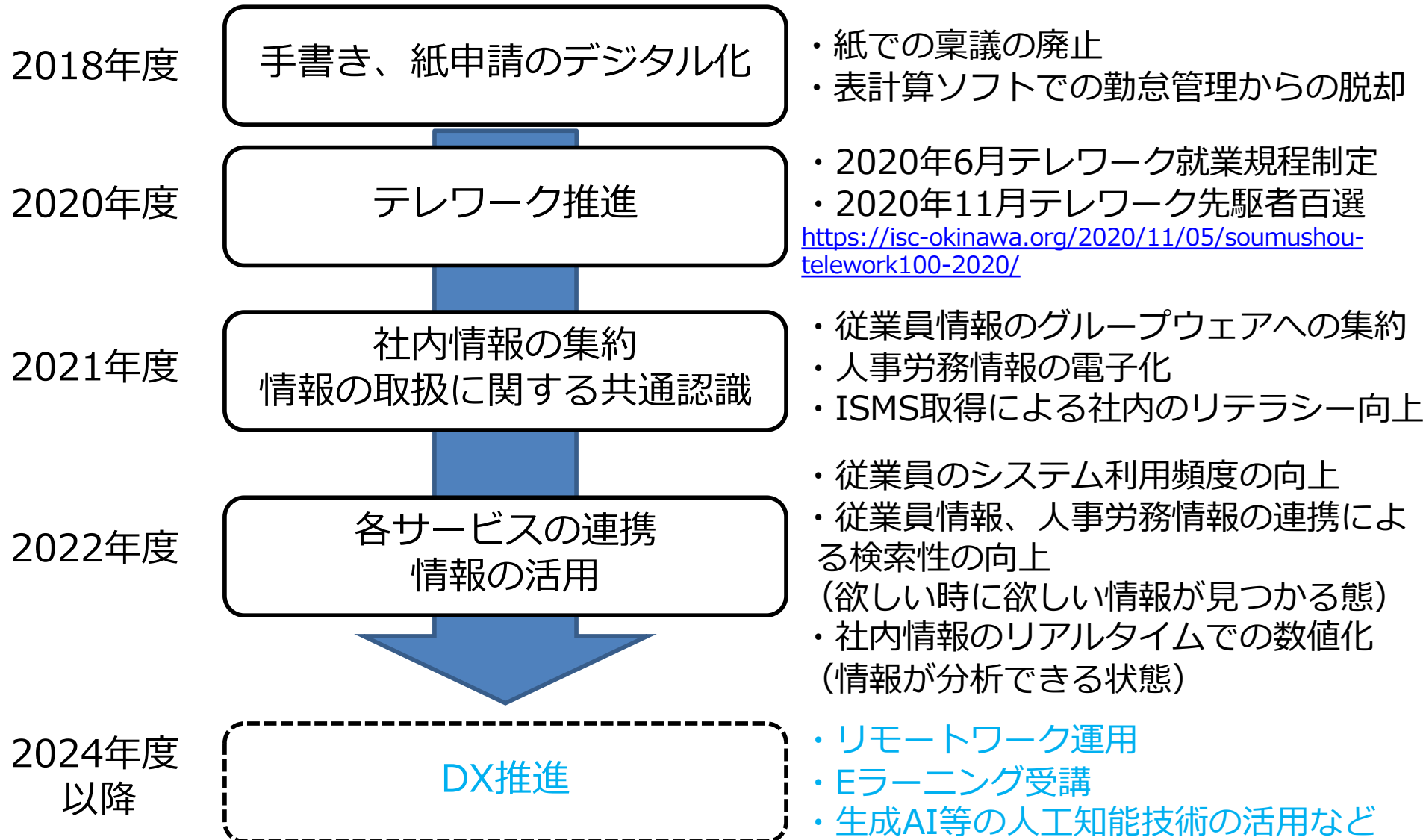
沖縄県経済の振興を図る産業支援機関として県内産業界の課題解決と新たな価値創造を促進するためデータとデジタル技術の利活用とイノベーションをもたらす機会を創出する

## ■ ISCO DX戦略

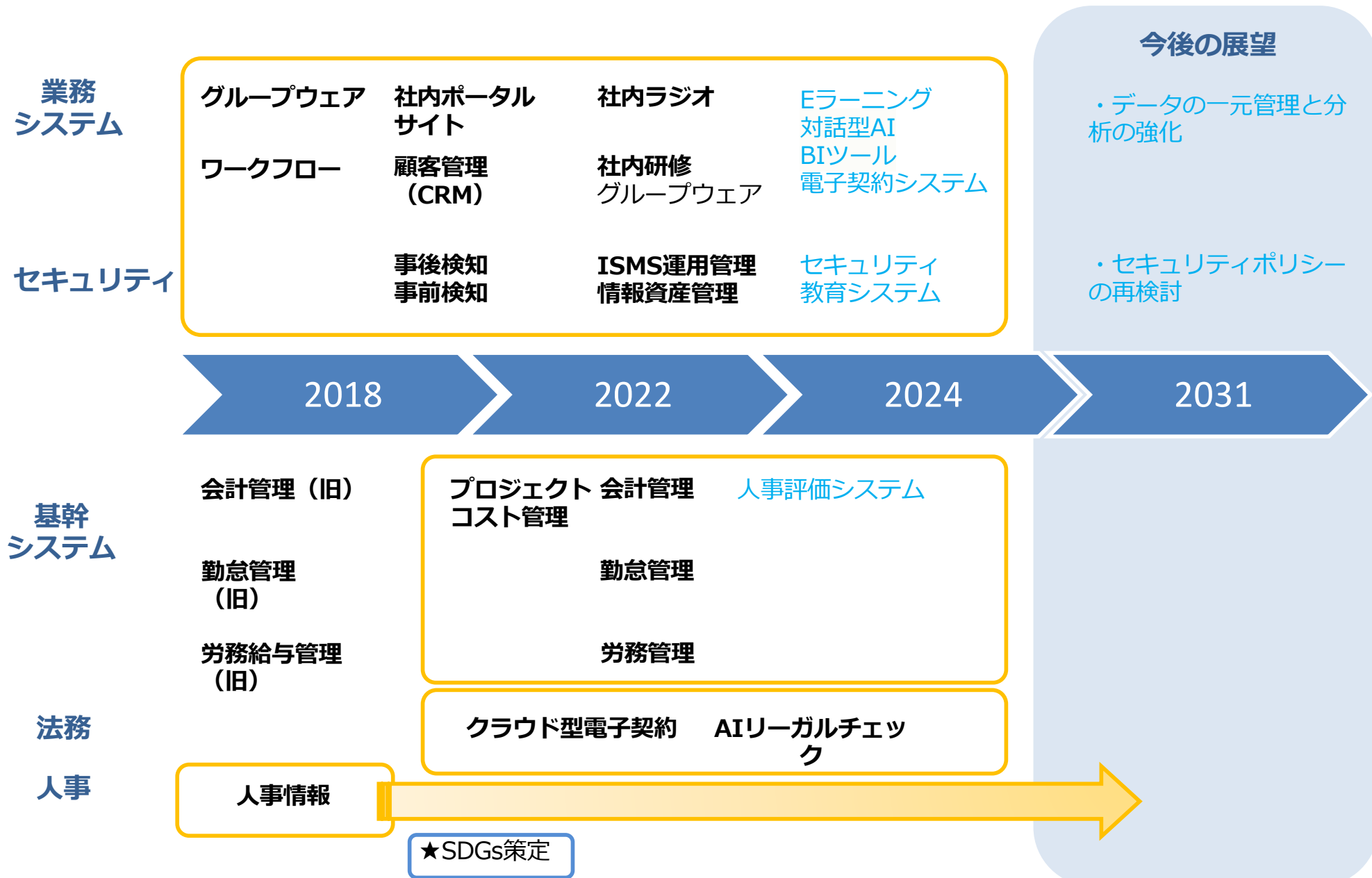
ISCO自らデジタル技術とデータを最大限に活用し、日々の業務の中から、イノベーションを創出する。

DX推進により業務の生産性向上を図り、事業拡大や人材育成等を推進する。  
またそれらで得た知見を活用し、県内産業界の課題解決と新たな価値創造を実現する。





# ISCO DX 社内システムのロードマップ





## ■ 導入理由

職員の業務スキル向上のため、場所や時間を選ばずに啓発等の機会を提供する事が可能なサービスを導入。

## ■ 導入効果

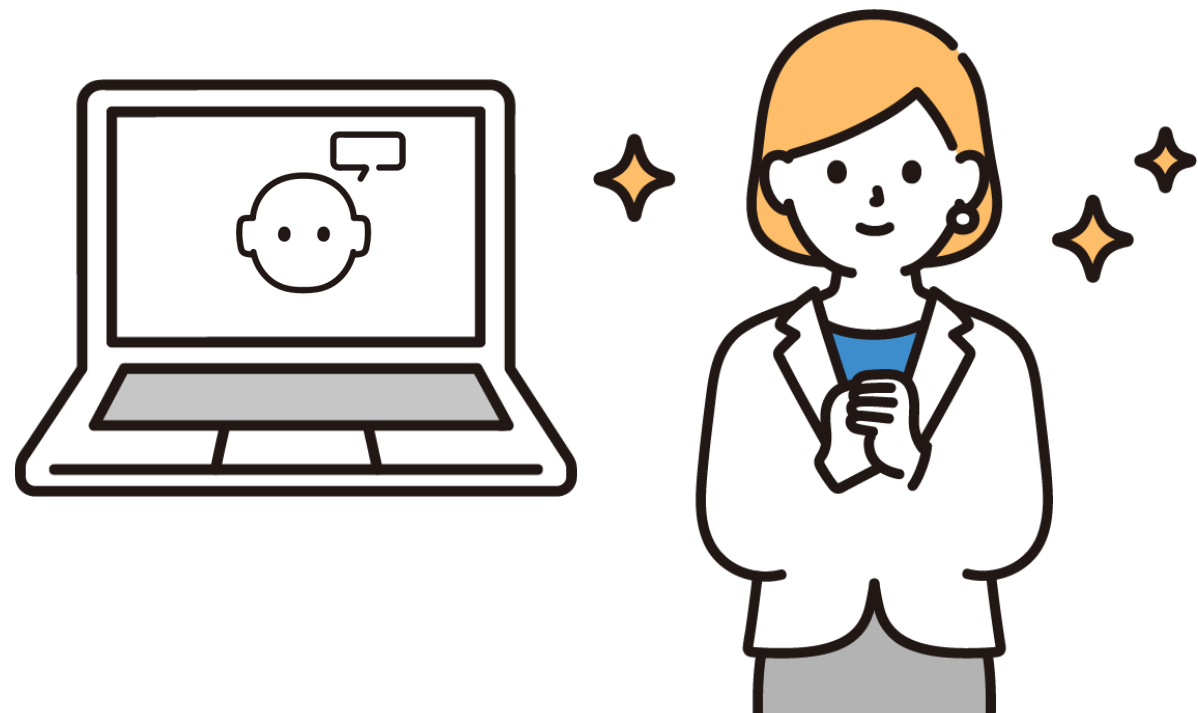
- 効率的にスキルや知識を習得することで、業務の効率化が進み、生産性が向上。
- 最新の技術やトレンドに触れる機会が増えるため、新しいアイデアの創出が促進。
- 継続的な学習を通じて組織全体のスキルレベルが向上。

### ■ 導入理由

日頃の業務におけるルーチンワークや資料作成などを自動化し、職員がよりクリエイティブな業務に集中でき、業務効率の向上に繋がるため。

### ■ 導入効果

- ・ 資料作成等の自動化により、作業時間が削減され、業務コストが圧縮。
- ・ 対話型AIが知識の蓄積と検索を容易にし、必要な情報を迅速に取得できます。これにより、業務の質が向上し、ミスの減少や教育コストの削減。

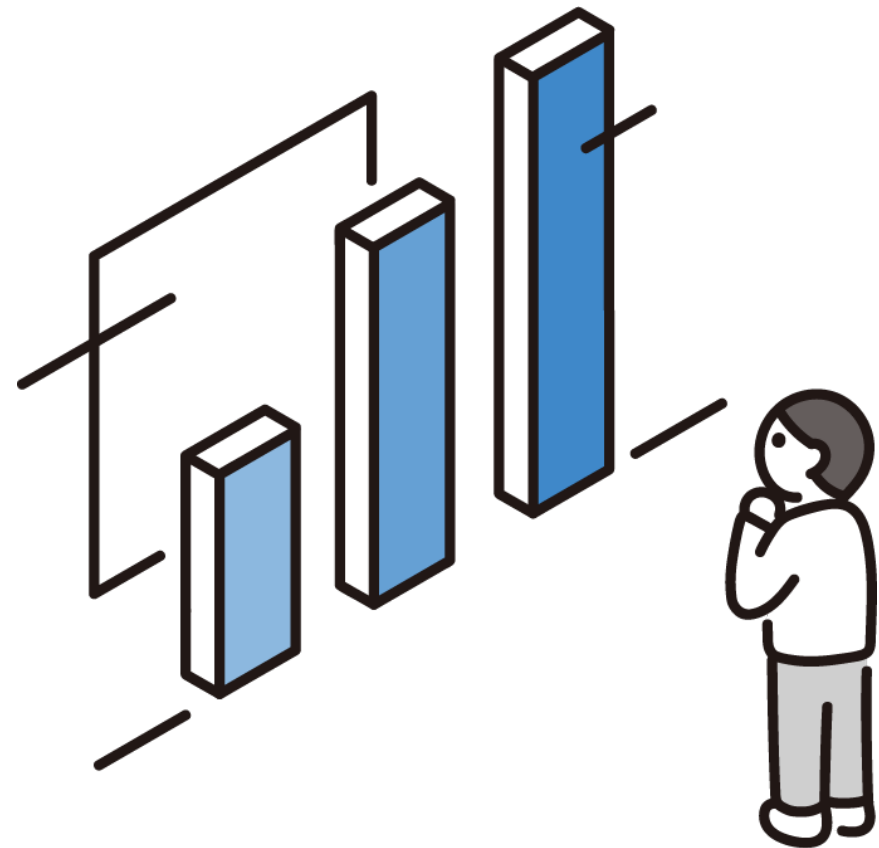


### ■ 導入理由

さまざまなプロジェクトや活動が行われており、これに伴うデータが日々生成されています。BIツールを活用することで、これらのデータを可視化し、迅速かつ効果的な意思決定が可能になるため。

### ■ 導入効果

- データをリアルタイムで可視化することで、必要な情報を即座に生成し、意思決定のスピードを向上。
- データ統合と分析により、業務プロセスの最適化が進み、無駄を削減することで業務効率が向上。



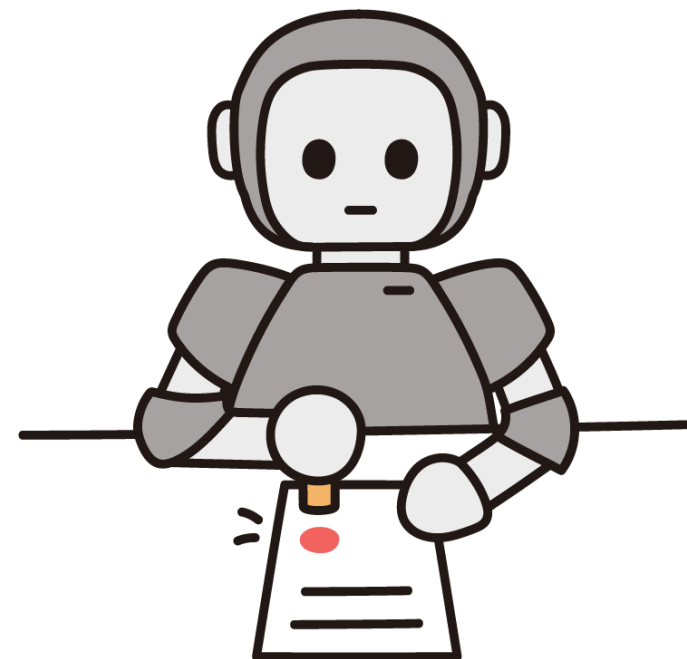


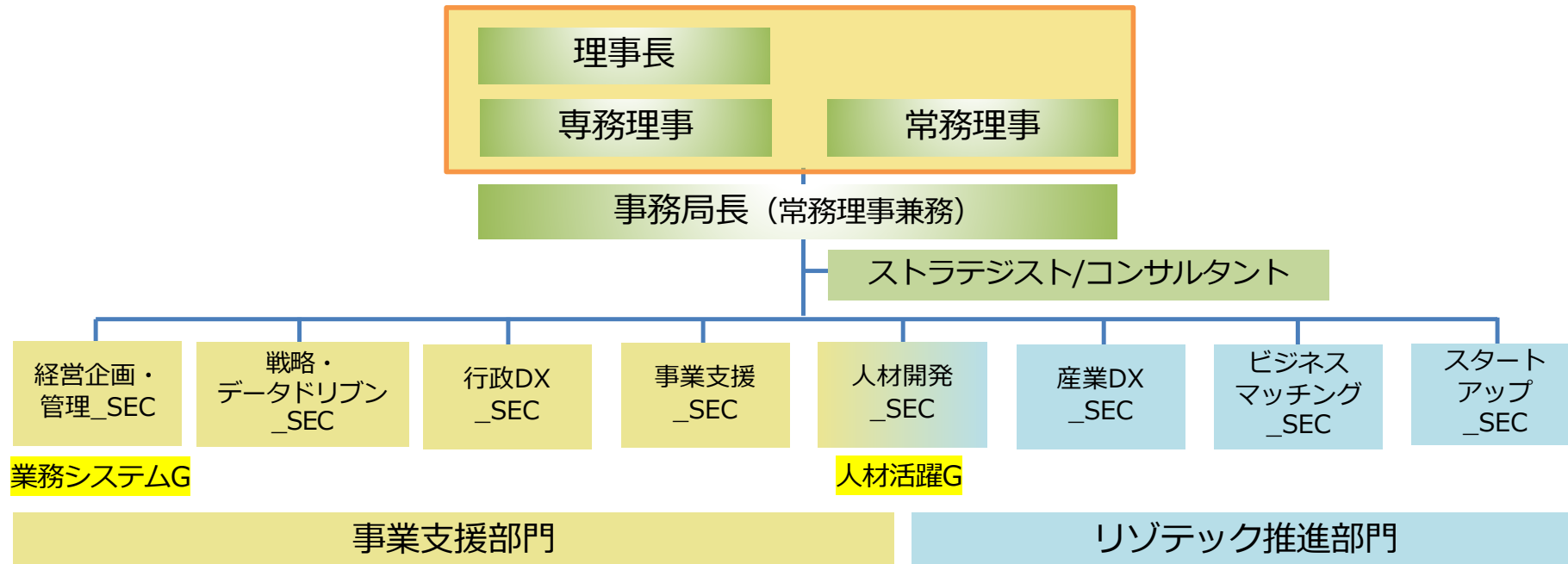
### ■ 導入理由

紙の契約書類をデジタル化することで、紙の使用を削減し、環境負荷を低減します。また、書類の印刷、郵送、保管などにかかるコストも削減されるだけでなく、業務効率の向上が期待できる。また、契約書の改ざんや不正アクセスを防ぐためのセキュリティ機能を備えているため、安全性やリスクが軽減されるため。

### ■ 導入効果

- 印刷や郵送、物理的な書類保管にかかるコストが削減。  
また、契約プロセスの効率化により、人的コストも削減。
- 契約の作成から署名までの全プロセスが迅速に進行。  
これにより、業務全体のスピード感が向上。





経営企画・管理セクション内の業務システムGを中心に社内全体へDX推進を行う。  
人材活躍Gは、DX 推進人材としての職員の育成・成長支援を行う。

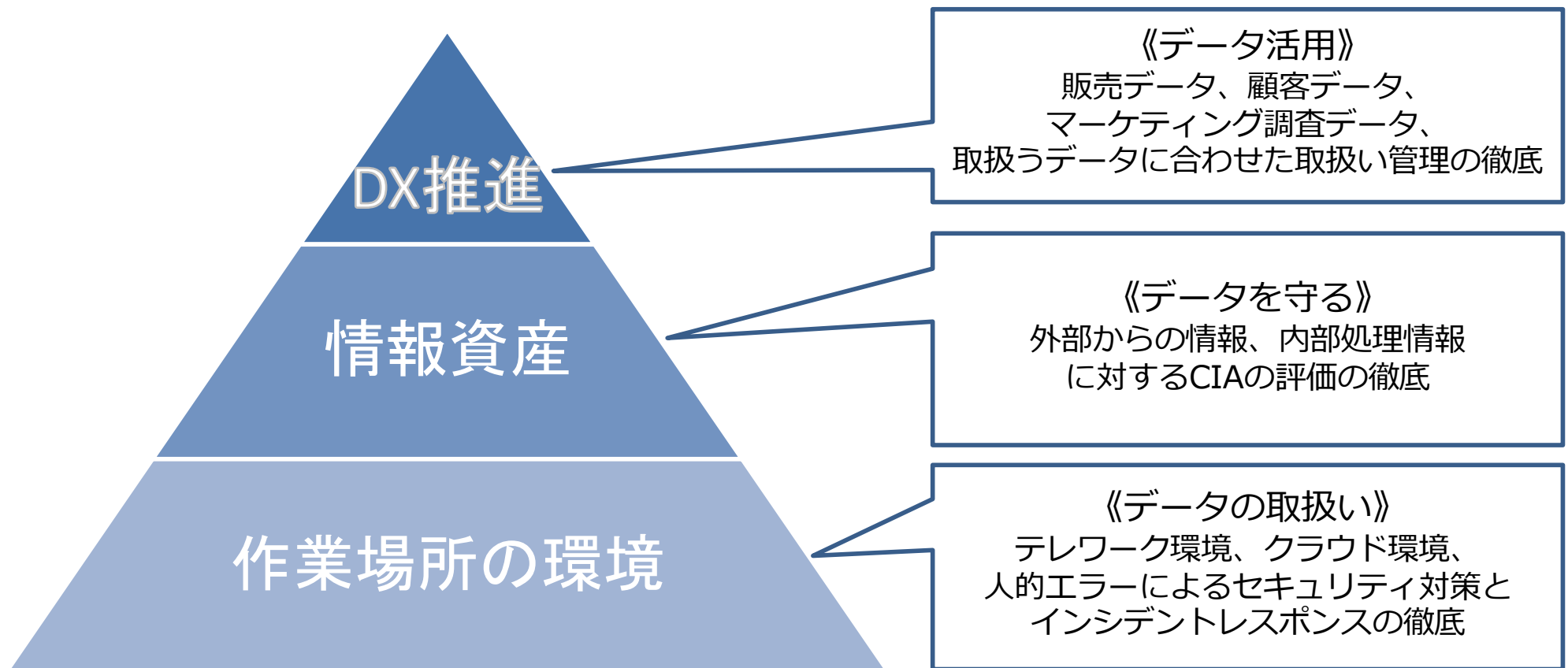
# KPI 社内業務・セキュリティに関するDXの取り組み



項目	2022年実績	2024年迄実績	2024年～目標	導入実績
ペーパーレス	7件	8件	+1件	入退館管理、来客受付、入退職者チェックシート、アカウント申請、ツール申請、外部ユーザー申請、メールリングリスト申請、電子契約システム
業務改善	5件	8件	+3件	社内ポータルサイト、機器の貸出管理、顧客管理、営業案件管理、インシデント管理、人事評価システム、BIツール、対話型AI
セキュリティ・人材育成の改善	3件	5件	+1件	アンケート配信、委託先管理、社内教育、Eラーニング、ISMS取得
合計	15件	21件	+5件	

★2022年2月 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)を全社取得

社内で取り扱う情報や、DXを進めていく中で活用するデータを  
ISMSに沿った規格を軸に、従来のセキュリティ+αでのセキュリティ対策を実施していく。



## ■ 課題

- セクションごとにシステムが分散しており、一元管理が難しい状況にある。
- セクション間での情報共有が不十分であり、業務効率の低下や意思決定の遅延が発生している。
- クラウドシフトやリモートワークの普及に伴い、セキュリティの脅威が増大している。

## ■ 今後のDX戦略

既存の各種システムの利活用をさらに高め、DXを進めていく。

- データの一元管理とリアルタイム分析機能の強化
- データの収集、分析、活用プロセスを標準化し、部門横断的なデータ駆動型の意思決定を促進。
- 全社的なセキュリティポリシーの再検討と強化を行い、クラウドやリモートワーク時代に対応。

